

平成30年度  
下松市当初予算（案）の概要  
（記者発表資料）



下 松 市  
平成30年2月

# 目 次

I	当初予算編成の考え方 .....	1
II	当初予算の概要 .....	2
1	当初予算の規模 .....	2
2	歳入の状況 .....	3
3	歳出の状況 .....	4
III	新年度主要施策の概要	
1	健康福祉 .....	6
2	生活環境 .....	7
3	都市建設 .....	9
4	産業経済 .....	12
5	教育文化 .....	14
6	地域経営 .....	16
IV	各種指標 .....	17

～別 添～

平成30年度施政方針

平成30年度予算書

平成30年度予算説明資料

## I 当初予算編成の考え方

わが国の経済の先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、月例経済報告では緩やかに回復していくことが期待されております。

しかし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響など懸念されるところであります。

国においては、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年熊本地震からの復旧・復興に向けて取り組むとともに、デフレからの確実な脱却、経済再生と財政健全化の双方の同時実現、人づくり革命や働き方改革などの検討を図り、経済の好循環の更なる拡大を実現するとしております。

地方財政では、急激な人口減少と少子高齢化が進む中、持続可能な地方財政基盤の構築や財政の健全化に努め、安定的な行政サービスを提供しつつ、地域を担う個人や団体と連携・協働し、自らの責任と判断で未来を切り開いていかなければなりません。

本市では、基本姿勢である「自主・自立のまちづくり」と「身の丈に合った健全財政」を引き続き堅持するとともに、限りある財源を最大限に有効活用し、「後期基本計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目指すべき将来都市像の実現に向けた政策を、計画的かつ効果的に進めてまいります。

本年度は、最重点施策の中でも「安全・安心対策」を特化し、近年多発する自然災害に対応するため防災棟を建設し、市民の防災意識の高揚を図るとともに、防犯灯のLED化を一挙に進め、概ね全体の取替えに取り組み、夜間の防犯・交通安全対策の充実に努めてまいります。

都市交通拠点施設の利便性・快適性の向上による機能の充実に図るため、JR下松駅構内及び市道橋上通りにおけるエレベーター設置等のバリアフリー化事業を実施いたします。

新たな地域防犯ボランティアとして、わんわんパトロール隊を募集するなど、「安全・安心の確保・充実」の諸施策に、ハード・ソフト両面から積極的に取り組んでまいります。

また、子育て環境の充実、住みよさや賑わいを全世帯にわたって実感していただくため、満足度向上に向けた施策の充実に努めます。

さらに、次年度に市制施行80周年を迎えるにあたり、観光振興ビジョンなどアクションプランを具現化し、賑わいの創出、魅力度の向上に向けた諸施策を進めてまいりたいと考えております。

平成30年2月6日

下松市長 國 井 益 雄

## Ⅱ 当初予算の概要

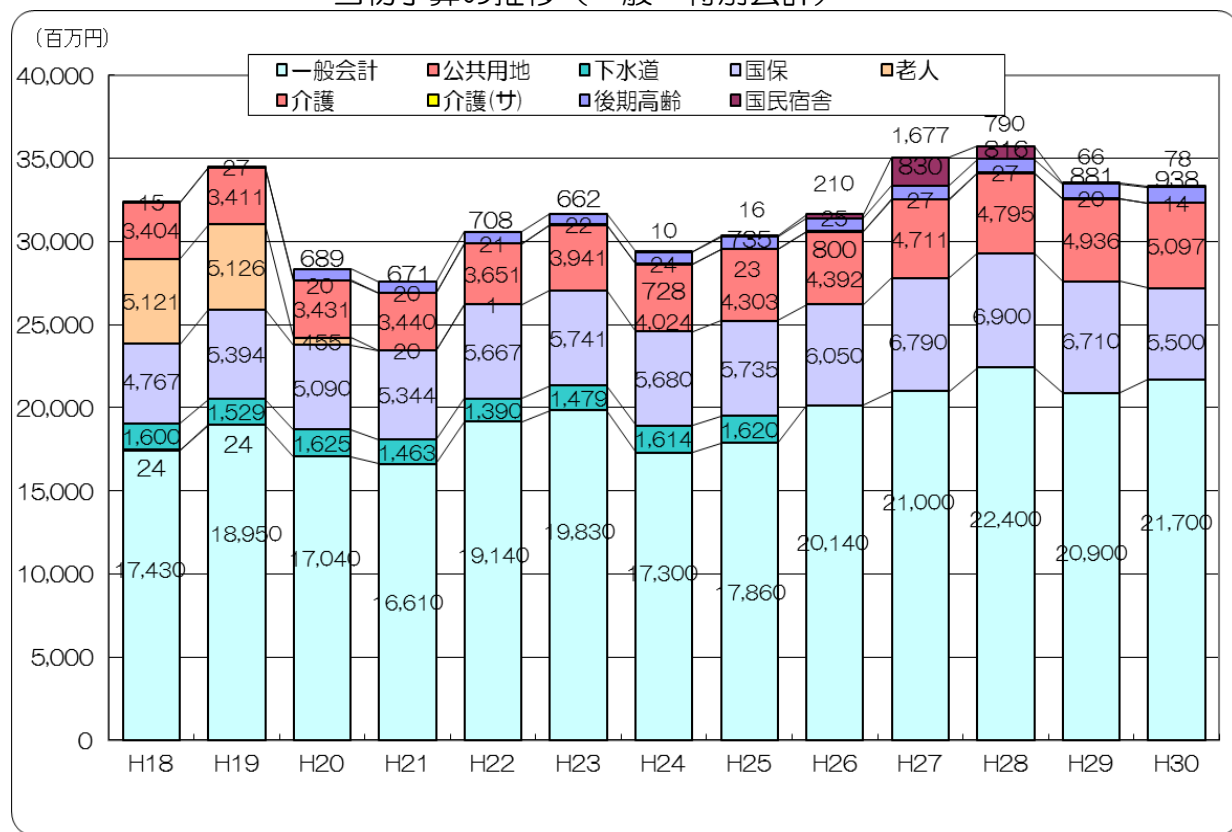
### 1 当初予算の規模

一般会計の予算規模は、217億円、特別会計116億2,700万円、企業会計50億5,214万5千円となり、一般会計は3.8%の増、特別会計は7.8%の減、企業会計は3.8%の増となっております。

(単位：千円、%)

		平成 30 年度	平成 29 年度	対前年増減	前年比
一般会計		21,700,000	20,900,000	800,000	3.8
特別会計		11,627,000	12,613,100	▲ 986,100	▲ 7.8
内 訳	国民健康保険特別会計	5,500,000	6,710,000	▲ 1,210,000	▲ 18.0
	介護保険（保険）	5,097,000	4,936,000	161,000	3.3
	介護保険（サービス）	14,000	20,100	▲ 6,100	▲ 30.3
	後期高齢者医療特別会計	938,000	881,000	57,000	6.5
	国民宿舎特別会計	78,000	66,000	12,000	18.2
合 計		33,327,000	33,513,100	▲ 186,100	▲ 0.6
企業会計		5,052,145	4,868,881	183,264	3.8
内 訳	水道事業会計	2,321,961	2,201,244	120,717	5.5
	工業用水道事業会計	233,164	217,931	15,233	7.0
	簡易水道事業会計	26,590	24,305	2,285	9.4
	公共下水道事業会計	2,470,430	2,425,401	45,029	1.9

当初予算の推移（一般・特別会計）



## 2 歳入の状況

歳入については、市税収入は、平成29年度との予算対比で約1.9億円の増額を見込んでおり、法人市民税が前年予算に対し約19%伸びておりますが、そのほかの税収の伸びは鈍化しております。

一般財源確保の厳しさは続くものと予想され、財政調整基金の取崩し等で一般財源総額を確保しております。

なお、各種事務事業を効率的かつ効果的に実施するため、現時点で見込みうる財源を予算計上しております。

＜一般会計款別予算＞		(単位：千円、%)					
区 分	平成30年度		平成29年度		比較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	伸率	
市 税	9,340,400	43.0	9,151,900	43.8	188,500	2.1	
地 方 譲 与 税	148,000	0.7	138,000	0.7	10,000	7.2	
利 子 割 交 付 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0	
配 当 割 交 付 金	23,000	0.1	23,000	0.1	0	0.0	
株式等譲渡所得割交付金	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0	
地方消費税交付金	920,000	4.2	900,000	4.3	20,000	2.2	
ゴルフ場利用税交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0	
自動車取得税交付金	30,000	0.1	20,000	0.1	10,000	50.0	
地方特例交付金	50,000	0.2	40,000	0.2	10,000	25.0	
地方交付税	1,300,000	6.0	1,320,000	6.3	▲ 20,000	▲ 1.5	
交通安全対策特別交付金	7,500	0.0	7,500	0.0	0	0.0	
分担金・負担金	230,019	1.1	225,829	1.1	4,190	1.9	
使用料・手数料	175,284	0.8	172,396	0.8	2,888	1.7	
国庫支出金	3,064,429	14.1	2,955,270	14.1	109,159	3.7	
県 支 出 金	1,398,430	6.4	1,329,464	6.4	68,966	5.2	
財 産 収 入	40,053	0.2	40,647	0.2	▲ 594	▲ 1.5	
寄 附 金	16,790	0.1	17,631	0.1	▲ 841	▲ 4.8	
繰 入 金	1,759,280	8.1	1,670,887	8.0	88,393	5.3	
財政調整基金	810,000	3.7	800,000	3.8	10,000	1.3	
減債基金	214,424	1.0	109,284	0.5	105,140	96.2	
その他特定目的基金	734,856	3.4	761,603	3.6	▲ 26,747	▲ 3.5	
諸 収 入	839,515	3.9	787,576	3.8	51,939	6.6	
市 債	2,338,300	10.8	2,080,900	10.0	257,400	12.4	
通常債	1,488,300	6.9	1,580,900	7.6	▲ 92,600	▲ 5.9	
臨時財政対策債	850,000	3.9	500,000	2.4	350,000	70.0	
合 計	21,700,000	100.0	20,900,000	100.0	800,000	3.8	
自主財源	12,401,341		12,066,866		334,475		
依存財源	9,298,659		8,833,134		465,525		
自主財源比率	57.1%		57.7%		▲0.6%		

### 3 歳出の状況

歳出では、扶助費や公債費など義務的経費が極端に増大し、新規事業等に係る普通建設事業費も増嵩しております。

本年度は、最重点施策の中でも「安全・安心対策」を特化し、子育て環境の充実、住みよさや賑わいを全世帯にわたって実感していただくため、満足度向上に向けた施策の充実に努めます。

行政需要は年々拡大傾向にあり、今後更なる財政負担が予測されるため、継続的で健全な財政運営に努め、多様化する行政需要に対して柔軟かつ迅速に対応できる行財政基盤を構築してまいります。

- ・人件費は、退職者の減があるものの、職員手当等の増により増額（0.4億円）となっております。
- ・扶助費は、子育て関連経費の増等により増額（2.9億円）となっております。
- ・公債費は、大型プロジェクト等の推進による増嵩により増額（1億円）となっております。
- ・投資的経費は、栽培漁業センター新種苗棟建設事業、大海線道路新設事業、中部土地区画整理事業、生野屋住宅建設事業（旗岡地区）、下松小学校建設事業、文化会館大規模改修事業などにより、増額（1.6億円）となっております。

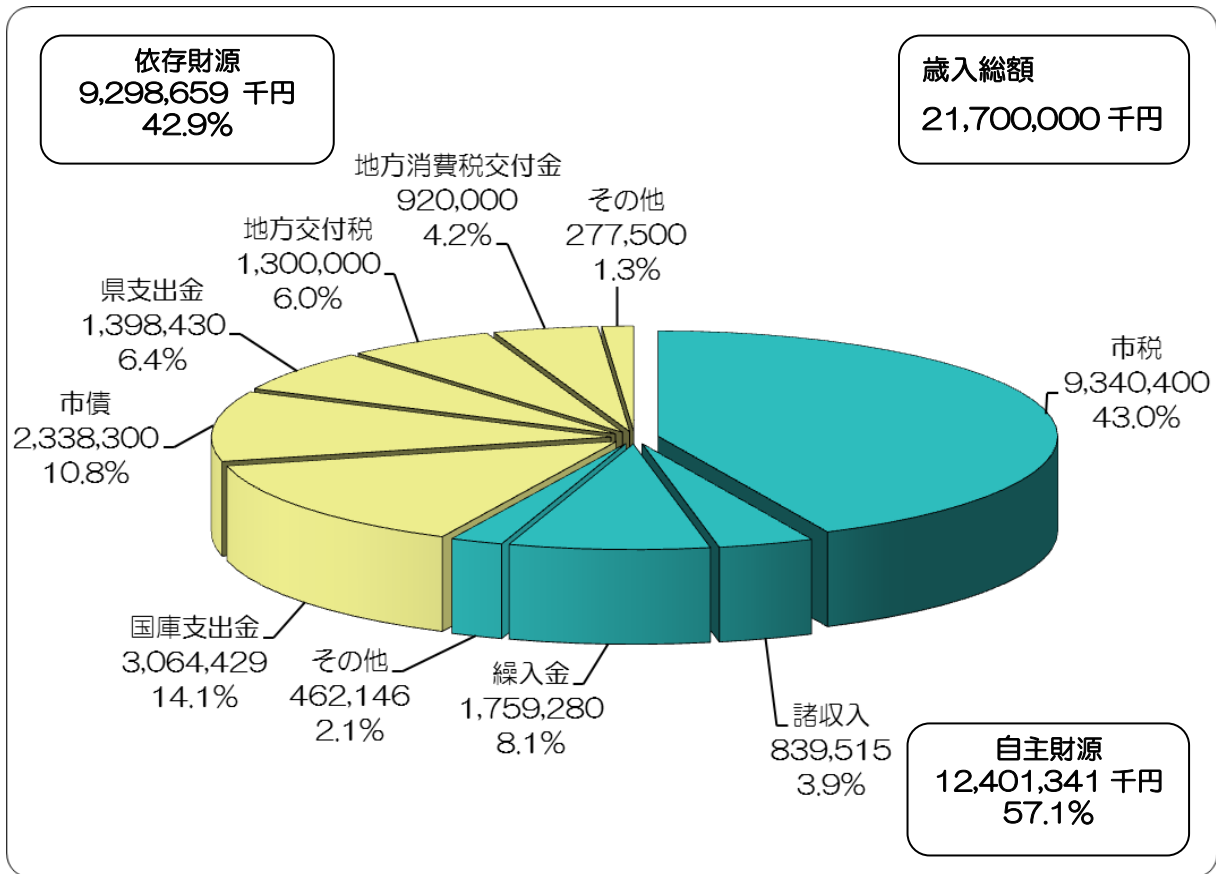
#### <一般会計性質別予算>

（単位：千円、％）

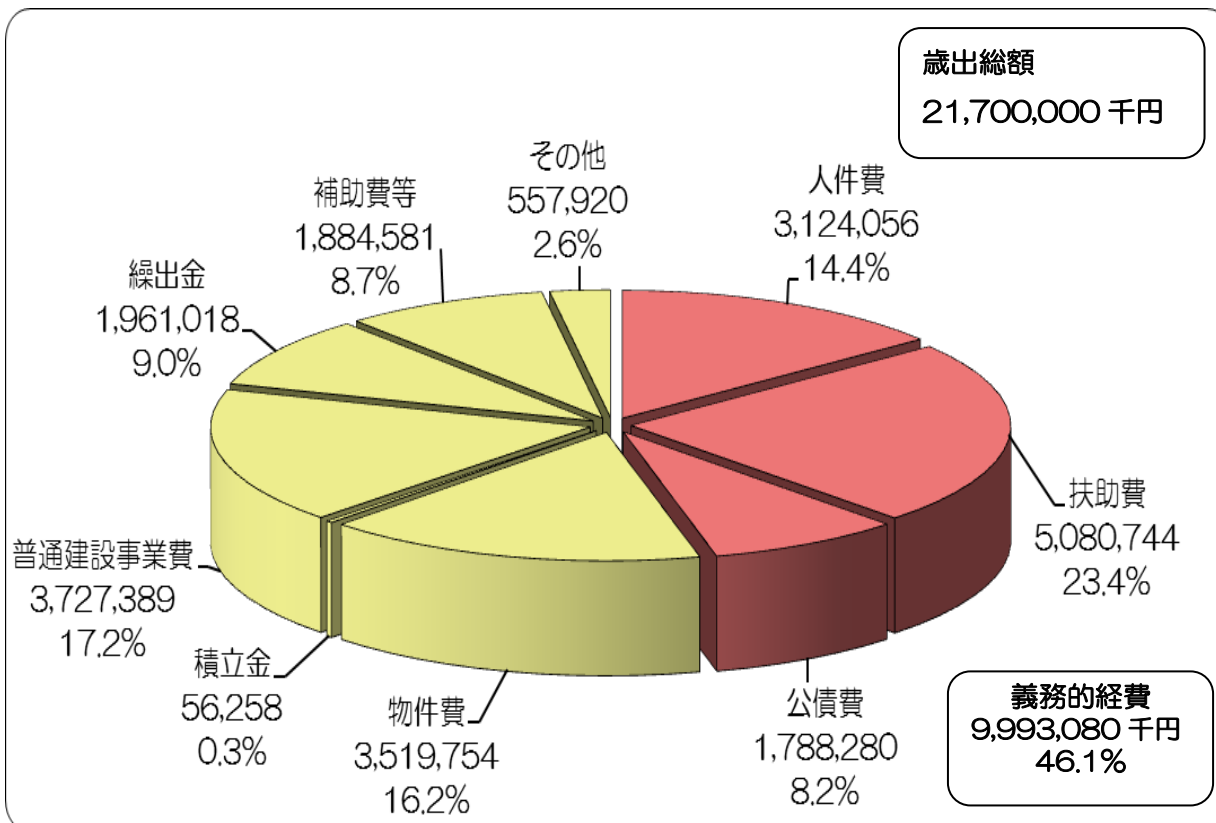
区 分	平成30年度		平成29年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	伸率
人 件 費	3,124,056	14.4	3,082,304	14.7	41,752	1.4
うち退職手当	97,741	0.5	111,463	0.5	▲13,722	▲12.3
公 債 費	1,788,280	8.2	1,691,466	8.1	96,814	5.7
扶 助 費	5,080,744	23.4	4,788,149	22.9	292,595	6.1
義務的経費計	9,993,080	46.1	9,561,919	45.8	431,161	4.5
物 件 費	3,519,754	16.2	3,533,771	16.9	▲14,017	▲0.4
維持補修費	144,320	0.7	152,908	0.7	▲8,588	▲5.6
補助費等	1,884,581	8.7	1,742,142	8.3	142,439	8.2
積立金	56,258	0.3	56,222	0.3	36	0.1
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸付金	324,700	1.5	324,700	1.6	0	0.0
繰出金	1,961,018	9.0	1,908,715	9.1	52,303	2.7
普通建設事業経費	3,727,389	17.2	3,565,849	17.1	161,540	4.5
補助事業	1,227,498	5.7	1,345,611	6.4	▲118,113	▲8.8
単独事業	2,360,126	10.9	2,074,265	9.9	285,861	13.8
県事業負担金	139,765	0.6	145,973	0.7	▲6,208	▲4.3
災害復旧事業経費	18,000	0.1	18,000	0.1	0	0.0
予備費	70,900	0.3	35,774	0.2	35,126	98.2
合 計	21,700,000	100	20,900,000	100	800,000	3.8

※構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合わない場合があります。

《一般会計歳入予算の財源別構成》



《一般会計歳出予算の性質別構成》



### Ⅲ 新年度主要施策の概要 (★は新規事業)

#### 1 【健康福祉】元気あふれる「まち」と人に優しい「さと」づくり

- ◎健康づくり・食育推進事業【健康増進課】 6,841 千円
- ・第2次下松市健康増進計画に基づき、市民の健康づくりを進めます。
  - ★市民が気軽に参加できる健康ウォーキング大会を開催し、健康に対する関心を高めます。
  - ・食育の更なる推進を図るため、第2次食育推進計画を改定します。
- ◎成人保健対策費【健康増進課】 92,565 千円
- ・がんの早期発見や早期治療を図るため、★新たに胃内視鏡検診を開始します。
- ◎国民健康保険事業【保険年金課】 5,500,000 千円
- ・国民健康保険は、県が、市とともに保険者となり、新たな財政運営の責任主体を担います。
  - ・被保険者に制度改革による負担が生じることのないよう、国民健康保険基金を活用し保険税率を据え置くとともに、収納率の向上や医療費の適正化を図り、健全かつ安定した事業運営に努めます。
  - ・保健事業は、第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の利用率の向上を図り、生活習慣病の早期発見、重症化予防に努めます。
- ◎介護保険事業【長寿社会課】 5,097,000 千円
- ・地域包括ケアシステムの構築に向け、★在宅医療・介護連携支援センターや認知症初期集中支援チームを設置するほか、市内全域に協議体を設置し、各地域における生活支援サービスの充実を図ります。
  - ・介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護事業所1施設の整備を進めます。
- ◎障害者自立支援事業【福祉支援課】 1,014,905 千円
- ・第3次下松市新障害者プランに基づき、障害福祉サービス等の支援体制の充実や就労支援と雇用の促進、障害者スポーツや文化芸術活動の推進を図ります。
  - ・障害者に対する権利擁護の取組を進めるとともに、ユニバーサルデザイン化の推進など、生活環境の向上に努めます。
  - ・地域共生社会の実現に向け、★障害者と家族、支援機関や市民がふれあう交流会を開催し、障害や障害者に対する理解を促進します。



◎子育て支援事業【子育て支援課】 2,816,714 千円

- ・子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て支援の充実を図り、次期事業計画の策定に向けたニーズ調査を実施します。
- ・花岡保育園は、社会福祉法人孝志会が運営する新設保育園に引継ぎ、完全民営化します。
- ・認可外保育施設入所児童保育料補助の拡充、企業主導型保育事業との連携を図り、民間保育園の誘致を進めます。
- ★保育士確保策として、保育士トライアル雇用制度を新設し、受入体制の整備に努めます。
- ・学童保育については、受入枠拡大を最優先に捉え、★第2花岡児童の家設計事業をはじめとした増設などを実施します。
- ・家庭児童相談業務は、子ども家庭総合支援拠点としての整備を進めるため、★家庭児童相談システムを導入し、情報管理と関係部署との情報の共有化を図ります。
- ・子どもの医療費助成制度は、所得制限を設けず小学校6年生までを対象とし、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

◎子育て世代包括支援センター運営事業【健康増進課】 10,027 千円

- ★産後間もない時期の産婦を対象に産婦健康診査を実施し、母体の身体機能回復、授乳状況、精神状態の把握を行い、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図ります。
- ・新たな産後ケア事業として、★助産師の自宅訪問によるケア事業を開始します。

◎幼児教育支援事業【子育て支援課】 594,786 千円

- ・新制度による施設型給付事業により、幼稚園運営を支援するとともに、★認定こども園建設補助事業を行い、認定こども園への移行を推進します。

## 2 【生活環境】安全安心な「まち」と環境に優しい「さと」づくり

◎廃棄物収集運搬事業【環境推進課】 229,990 千円

- ・家庭ごみ収集運搬業務は、収集コースの平準化を図るため、西地区を1コース増やし、9コース全てを民間事業者に委託します。
- ・清掃センターを廃棄物対策係に統合し、窓口の一本化により市民サービス向上を図り、ごみの減量化・資源化を推進します。

◎公共下水道整備事業【下水道課】 2,470,430 千円

- ・第8次基本実施計画に基づく管渠整備を進め、普及率向上に努めます。汚水処理は、広石地区、浴地区等の面整備を行い、人口普及率は、87.5パーセントとなる見込みです。

◎消防防災対策事業【消防本部】 596,722 千円

- ・救急需要が増加傾向にある中、複雑・多様化する要請に対応するため、医療機関等との連携を図り、救急体制の更なる充実に努めます。
- ・水難事故や豪雨災害等に対応するため、水難救助活動を開始します。
- ・強風時の火気使用等の警戒、重大違反防火対象物公表制度に基づく公表の実施及び住宅用火災警報器の設置率向上に努めます。
- ・新たに建設される防災棟に、機動分団・女性分団の消防団機庫を配備し、非常備消防の充実強化を図ります。

◎防災対策事業【総務課・都市整備課・上下水道局】 39,539 千円

- ・防災の基本である自助及び共助を推進するため、防災訓練、防災講演会、防災フェスタなどを実施し、自主防災組織の結成及び活動を支援します。
- ・災害備蓄計画に基づき、備蓄品を整備するとともに、災害用仮設トイレを購入します。

★災害時の応急給水に対応するため、災害時  
応急給水用簡易タンクを5基整備します。

- ・避難所における良好な生活環境を確保するため、災害用マンホールトイレ整備計画に基づき、中村総合福祉センターにマンホールトイレを5基設置します。

★一時避難場所となる公園において、災害時に  
防災機能を果たす東屋やトイレの整備等  
を行い、防災力の強化に取り組みます。



<一時避難場所東屋 イメージ>

◎河川改修事業【土木課】 49,000 千円

- ・河川事業は、宮本川、水無川等の準用河川や旧普通河川の改修工事、水無川の大規模浚渫設計を実施します。
- ・県事業は、切戸川、坂本川、玉鶴川の改修工事、末武川の護岸補強工事が実施されます。

◎土砂災害対策事業（県事業負担金）【土木課】 13,000 千円

- ・土砂災害対策は、二ノ瀬地区及び時宗地区の崩壊対策工事、奥迫地区及び東豊井地区の砂防ダムの建設が実施されます。

- ◎浸水対策事業【土木課】 5,000 千円
- ・浸水対策事業は、公共下水道事業での竹屋川4号幹線工事、竹屋川ポンプ場増設工事に着手するほか、庁内連携のもと恋ヶ浜・豊井地区及び末武平野の内水氾濫の早期軽減に努めます。

- ◎防犯・交通安全対策事業【生活安全課・契約監理課】 46,510 千円

- ・防犯灯のLED化を加速させ、概ね全体の取替えを終了し、夜間の防犯・交通安全対策の充実に努めます。
- ・33台設置している防犯カメラを5台増設する等、警察や関係団体と連携し、犯罪や交通事故の起きにくいまちづくりを進めます。
- ★地域防犯ボランティアを確保するため、わんわんパトロール隊を募集し、安全安心な地域社会づくりを推進します。
- ・交通安全対策は、様々な機会を活用した交通安全教育及び啓発活動に取り組みます。
- ★公用車にドライブレコーダーを設置し、職員の安全意識の向上とともに、地域の防犯対策にも役立てます。



＜防犯カメラ＞

- ◎交通安全施設整備事業【土木課】 31,220 千円
- ・カーブミラー等の計画的な建替改修を実施するとともに、通学路の危険箇所適切な対策を行います。

- ◎消費生活相談事業【生活安全課】 9,451 千円
- ・市民の相談窓口として、消費生活センターの機能強化や消費者相談業務をさらに充実します。
  - ・増加する若年層を狙った悪質商法被害を防止するため、消費者教育と啓発活動に取り組みます。
  - ・うそ電話詐欺被害防止の通話録音装置貸与事業を実施する等、関係機関と連携し、高齢者等の消費者被害の早期発見・拡大防止に努めます。

### 3 【都市建設】 便利で快適な「まち」とみどり豊かな「さと」づくり

- ◎地籍調査事業【地籍調査課】 38,866 千円
- ・地籍調査は、河内（字笠松）周辺地区の地籍図及び地籍簿の作成等を実施するとともに、河内（字黒杭・小野）周辺地区の地元説明会、調査及び測量等を実施します。

◎土地区画整理事業【都市整備課】

435,365 千円

- ・中部土地区画整理事業は、平田川橋梁の架橋工事、都市計画道路大海線及び都市計画道路西市通線の築造工事を行い、整備工事を完了し、平成31年12月の換地処分に向けて準備作業を進めます。

中部地区都市計画道路大海線平田川橋梁架設事業

H29	144,000 千円
H30	128,000 千円
計	272,000 千円 (継続費)

- ・豊井地区は、昨年設置した「豊井区画整理見直し協議会」において、土地区画整理事業以外の手法も含め、整備方針を検討します。

◎住居表示整備事業【都市整備課】

544 千円

- ★中部土地区画整理事業区域及び周辺地域において、平成31年12月の住居表示実施に向け、現地調査等を進めます。
- ・既に住居表示を実施した地域の老朽化した住居表示板を順次更新します。

◎道路橋りょう整備事業【土木課】

613,986 千円

- ・県道は、徳山下松線の荒神大橋及び切戸大橋の架け替え、瀬越下松線及び笠戸島線の拡幅が実施されます。
- ・都市計画道路国道山手線（下松新南陽線）は、拡幅事業が進められます。
- ・市道は、西条線改良工事、中央線歩道改良工事、中心市街地の舗装改良工事及び平田昭和通りの排水路改良設計を実施します。
- ・橋りょう等は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本通り荒神橋の補修工事を実施します。
- ・維持管理は、道路パトロール及びボランティアへの材料支給など、道路環境の整備に努めます。



<荒神橋【本通り】>



<中央線>



- ◎都市計画道路大海線道路新設事業【都市整備課】 297,000千円
- ・都市計画道路大海線は、道路新設へ向けて、平田昭和通りと県道下松鹿野線の区間の用地取得、建物補償等を行います。

- ◎公共交通対策事業【企画財政課・土木課】 332,210千円  
(企画財政課 125,210千円)  
(土木課 207,000千円(再掲))

- ★地域公共交通網形成計画に基づき、各種事業の具現化に向けて、米川地区と笠戸島地区での実証実験を行います。
- ★バス事業者が実施するバスロケーションシステム導入費用の一部を負担し、利用者の利便性向上を図ります。
- ・県、JR西日本及びJR岩徳線沿線市で構成する利用促進委員会に助成し、利用促進に向けた取組を進めます。
- ・都市交通拠点施設の利便性・快適性の向上による機能の充実を図るため、JR下松駅構内及び市道橋上通りにおけるエレベーター設置等のバリアフリー化事業を実施します。

- ◎港湾事業（港湾施設県事業負担金・償還負担金）【土木課】 65,971千円
- ・徳山下松港の港湾計画に基づき、国際バルク戦略港湾をはじめとする整備が進められます。
  - ・海岸高潮対策は、深淵地区の護岸改良工事が実施されます。
  - ・港湾施設は、本浦地区の防波堤新設事業が進められます。

- ◎緑地保全・都市緑化事業【都市整備課】 214,472千円

- ・心豊かな人づくり事業として、しだれ桜の写真コンテスト、カサブランカー鉢コンクール等を開催します。
- ・「山口ゆめ花博」の連携会場として、下松スポーツ公園・米泉湖周辺等に菜の花、ポピー、コスモス等を植栽し、花博の認知度、関心を高め、花いっぱいのもちづくりに取り組みます。



<下松スポーツ公園>

- ・緑の基本計画は、緑地の配置方針・保全、緑化推進の施策等を検討し策定します。
- ★市道中央線の街路樹リフレッシュ事業に着手し、街路樹の植え替えを行います。

- ◎公園等整備事業【都市整備課】 33,500 千円
- ・利用者の安全確保のため、遊具、フェンス等の改修を行います。
  - ・下松スポーツ公園については、冒険の森幼児用遊具、花の広場園路整備等を行います。
  - ・温水プールアクアピアこいじは、計画的に点検・補修を実施します。

- ◎生野屋住宅建設事業【住宅建築課】 174,000 千円
- ・市営住宅長寿命化計画に基づき、生野屋市営住宅の建替2期事業に着手します。

- ◎市営住宅改修事業【住宅建築課】 61,000 千円
- ・既存住宅の長寿命化対策として、改修計画による維持補修工事を実施します。

#### 4 【産業経済】活力のある「まち」と恵み豊かな「さと」づくり

- ◎農業振興・土地改良事業【農林水産課】 174,666 千円
- ・地産地消推進のため、学校給食での利用促進や生産量の確保、多様な担い手づくりに努めます。
  - ・新規就農者に対しての施設整備や園芸農家に助成します。
  - ・特産物の生産や環境保全活動に取り組む活動組織へ支援します。
  - ・ため池は、農村地域防災減災事業を活用した★おおぞうひがし大蔵東ため池の改修をはじめ、適切な維持・管理に努めます。
  - ・有害鳥獣の被害防止は、防除柵の設置や鳥獣被害対策実施隊による駆除活動を支援します。

- ◎水産業振興事業【農林水産課】 54,825 千円
- ・水産資源確保のため、たこつぼ投入、種苗放流を行い、ないかい内海地区水産環境整備事業や海洋ゴミの回収処理等、藻場の回復や漁場環境の改善に努めます。
- ★栽培漁業センター第1生物飼育棟の改修実施設計を行います。

◎栽培漁業センター新種苗棟建設事業【農林水産課】 810,000 千円

- ・種苗生産事業における需要に応じた生産数の安定供給を図ることに加え、笠戸島の観光交流拠点施設として整備するため、新種苗棟建設事業を実施します。

H29	245,000 千円	
H30	810,000 千円	
H31	445,000 千円	
計	1,500,000 千円	(継続費)



<栽培漁業センター 第3生物飼育棟・研修棟 イメージ>

◎産業・商工業振興事業【産業観光課】 371,284 千円

- ・産業活性化・企業誘致推進協議会の活動促進、企業アンケートや企業訪問を行い、山口県地域再生計画に基づく企業誘致活動に取り組みます。
- ・工場等誘致奨励制度は、製造業に新たに道路貨物運送業を加え、工場等の設置者に対する奨励措置及び事業拡大や新規雇用に対する支援を拡充します。
- ・中小企業活性化のため、周南地域地場産業振興センターの研究開発事業を支援します。
- ・中小企業に対する制度融資は、一層の利用促進を図るため、利率や貸付要件の見直しを図るとともに、保証料補給、小規模事業者経営改善資金利子補給などを実施し、中小企業の経営基盤強化に努めるとともに、創業支援事業計画に基づく商工業の活性化を進めます。
- ・商工会議所中小企業相談所に助成し、市内事業者の経営改善を支援します。
- ・市内の消費拡大及び経済の活性化に加え、新たに子育て世代を経済的側面から応援するため「プレミアム付商品券」を発行し、消費購買力の強化、販売促進による市内経済循環の創出並びに子育て支援に努めます。

- ◎勤労者福祉対策事業【産業観光課】 46,392 千円
- ・勤労者総合福祉センターの利用促進や中小企業の勤労者諸団体へ助成し、勤労者の健康・福祉・勤労意欲の向上に努めます。
  - ・シルバー人材センターに助成し、高齢者の就業・交流機会の確保・生きがい対策の充実に努めます。
  - ・勤労者及び離職者の生活の安定を図るため、県と協調し、労働福祉金融制度の実施に取り組みます。

- ◎観光推進事業【産業観光課】 98,890 千円
- ・「下松へ人々を引き付ける魅力あるまちづくり」を推進するため、観光振興ビジョンに基づき事業を計画的に進めます。
  - ★観光・産業振興推進の“核”となる組織の構築に向けた協議会を設立するとともに、観光ロゴマークの作成、新たな観光パンフレットの作成、市の玄関口であるJR下松駅における観光案内の機能充実に努めます。
  - ・観光協会等と連携した“元気づくり”くだまつ総踊り等の観光イベントへの支援や、くだまつ観光・産業交流センターによる各種情報の発信、イベント運営について助成する等、観光宣伝活動や知名度の向上に努めます。

## 5 【教育文化】 育ち育てる「まち」と誇りのある「さと」づくり

- ◎下松小学校建設事業【教育総務課】 139,200 千円
- ・管理特別教室棟の今年秋の完成を目指すとともに、普通教室棟等の実施設計を行います。

H28	464,000 千円
H29	1,313,000 千円
H30	73,000 千円
H31	20,000 千円
計	1,870,000 千円（継続費）



< 下松小学校（完成予想） >

- ★中村小学校屋内運動場改築事業【教育総務課】 25,000 千円
- ・実施設計を1年前倒して行い、学校施設の耐震化を進めます。

- ◎学校環境整備事業【教育総務課】 58,000 千円
- ・豊井小学校屋内運動場屋根改修工事、花岡小学校第3校舎並びに下松中学校及び久保中学校特別支援教室の空調設置工事、豊井小学校及び東陽小学校のLAN整備工事を行うなど、学校施設の環境整備を図ります。



◎コミュニティ・スクール調査研究事業【学校教育課】 9,270 千円  
 ・コミュニティ・スクールの取組を充実させ、社会総がかりで児童生徒の学びや育ちを支援する教育環境づくりに努めます。

◎教員補助員配置事業【学校教育課】 28,300 千円  
 ・障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育が展開されるよう、教員補助員を配置して支援の充実を図ります。

◎小学校・中学校給食センター管理運営業務【学校給食課】 483,657 千円  
 ・学校給食は、学校と給食センターで連携して安全で安心な給食の提供に努めるとともに、給食費公会計化の確実な運営を図ります。

◎文化会館施設整備事業【生涯学習振興課】 360,000 千円  
 ・9月のリニューアルオープンに向け、大規模改修工事を計画的に進めます。

H29	100,000 千円
H30	360,000 千円
計	460,000 千円 (継続費)

◎郷土資料デジタル化事業【図書館】 2,000 千円  
 ・郷土資料デジタルアーカイブを活用して、地域の情報拠点としての機能強化と下松市の情報発信に努めます。

◎公民館施設整備事業【生涯学習振興課】 20,500 千円  
 ★新たに策定した公民館施設整備計画に基づき、笠戸公民館の基本計画・基本実施設計を進め、花岡公民館講堂の基本計画策定に着手します。

◎心豊かな人づくり事業【生涯学習振興課】 3,985 千円  
 ・笑い・花・童謡を柱とする心豊かな人づくり事業として、笑顔の写真コンテストや童謡フェスタなどを開催し、心の交流による笑顔あふれるまちづくりの推進に努めます。  
 ・7月第4日曜日の「くだまつ親子の日」を定着させるため、様々な分野や世代を対象とした企画事業や啓発活動を展開します。



<くだまつ親子の日>

## 6 【地域経営】健全経営の「まち」とみんなで作る「さと」づくり

◎市民活動支援事業【秘書広報課・企画財政課】 16,444 千円

- ・自治会及び自治会連合会の業務窓口を一本化し、市民協働によるまちづくりを推進します。
- ・コミュニティ組織の充実のため、自治会活動助成制度を通し、地域に根ざした活動を支援します。
- ・災害時の一時避難場所と想定される地区集会所等の空調設備等の費用を、一部助成します。

◎防災棟新築事業【総務課】 55,516 千円

- ★旧消防庁舎跡地の有効活用として、駐車場の整備を進めるとともに、総合的な防災機能を併せ持つ防災棟を建設します。



＜市役所正面駐車場・防災棟 イメージ＞

◎下松タウンセンター屋外ステージ屋根設置事業【企画財政課】 39,000 千円

- ・下松タウンセンター屋外ステージ屋根を設置し、賑わいの創出を進めます。



＜下松タウンセンター屋外ステージ屋根 イメージ＞

★企業等連携協定関連事業【企画財政課】 1,000 千円

- ・地域包括連携協定を締結した民間団体や学校等と協働した地域活性化を進めます。

◎シティプロモーション事業【企画財政課】 10,900 千円

- ・市制施行80周年に合わせた新たな映画製作等に取り組むなど、本市の魅力発信と知名度向上に努めます。
- ・認知度向上及び移住促進等に向けた市のPR活動を行います。

## IV 各種指標

### 基金残高

	平成 28 年度末	平成 29 年度末見込	平成 30 年度末見込	H30-29 増減
財政調整基金	1,793,668	1,513,800	706,071	▲807,729
減債基金	346,013	577,247	403,689	▲173,558
その他特定目的基金	2,678,543	1,771,611	1,049,876	▲721,735
計	4,818,224	3,862,658	2,159,636	▲1,703,022

※定額運用基金（県収入証紙購入基金、奨学金貸付基金）、国民健康保険基金、介護給付費準備基金は含めていない。

※減債基金には、市場公募地方債の満期一括償還に係る積立額（H29年度末 40,000千円、H30年度末80,000千円）を含んでいる。

- ・財政調整基金は、810,000千円を取り崩す。（平成29年度は800,000千円）
- ・その他特定目的基金は、まちづくり推進基金ほか1基金734,856千円を取り崩し、各種事業等に充当した。

### 地方債残高

	平成 28 年度末	平成 29 年度末見込	平成 30 年度末見込	H30-H29 増減
一般会計	20,157,802	21,203,510	21,908,574	705,064
国民宿舎特別会計	1,994,000	1,941,411	1,875,244	▲66,167
企業会計（水道）	3,586,633	3,342,201	3,256,628	▲85,573
企業会計（簡水）	149,637	142,859	134,303	▲8,556
企業会計（下水）	5,983,330	6,078,275	6,169,693	91,418
計	31,871,402	32,708,256	33,344,443	636,187

※平成28年度は同意額ベース（繰越分含む）。介護保険事業は含めない。

### 指標の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
基準財政需要額	8,189,611	8,484,961	8,637,269	8,514,087		
基準財政収入額	7,142,387	7,499,417	7,670,576	7,505,247		
普通交付税決定額	1,046,856	986,391	966,693	1,008,840		
財政力指数（3ヶ年）	0.870	0.875	0.881	0.884		
財政力指数（単年度）	0.872	0.884	0.888	0.881		
標準財政規模	11,308,723	11,441,066	11,511,432	11,502,635		
経常収支比率（予算）	91.4	95.6	99.2	102.4	101.7	
経常収支比率（決算）	88.0	86.4	93.9			
健全化判断比率		-	-	-		
		-	-	-		
	実質公債費比率	(単年▲0.0) 0.3	(単年0.6) 0.2	(単年1.0) 0.5	1.8	3.2
	将来負担比率	-	-	7.0		
住民基本台帳人口（年度末）	56,249	56,366	56,842			
自主財源比率	60.4	57.6	60.0			

※網掛け部分の指標は、今現在の見込で記載。（本来は決算に基づく指標）

大型事業・拡大事業の内訳等

＜主な投資的事業＞

(単位：千円)

項 目		区分	予算額
ハ ー ド 事 業	下松駅バリアフリー化事業	継続	279,255
	大海線道路新設事業	継続	297,000
	栽培漁業センター新種苗棟建設事業	新規	810,000
	中部土地区画整理事業	継続	430,139
	生野屋住宅建設事業（旗岡地区）	継続	174,000
	下松小学校建設事業	継続	139,200
	文化会館大規模改修事業	継続	360,000

新規事業の内訳等 30件（うちハード事業10件、ソフト事業20件）

◎…「安全・安心の確保、充実」

♥…「魅力あるまちづくり」

＜主な新規事業＞

(単位：千円)

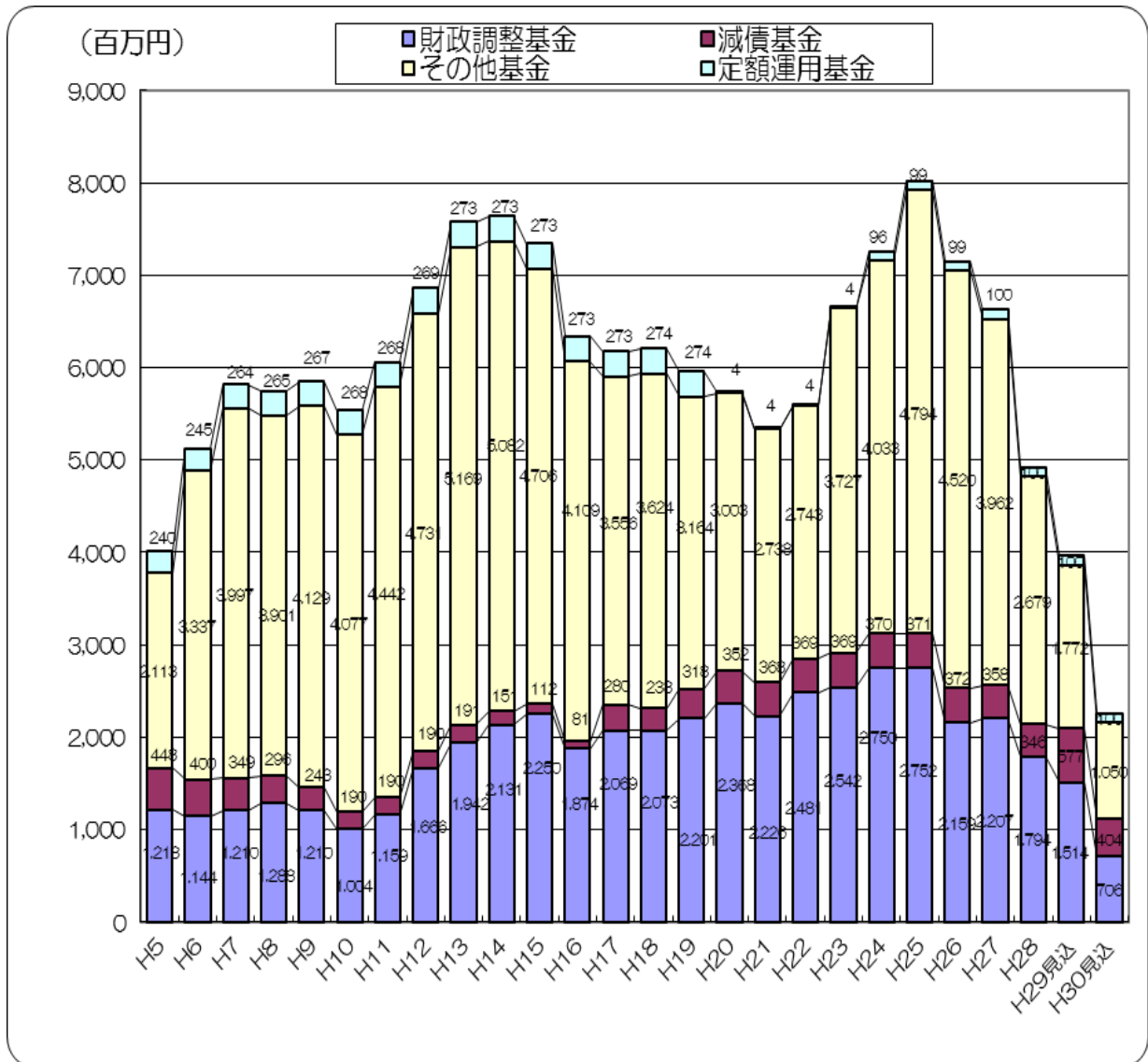
項 目			予算額
ハ ー ド 事 業	防災棟新築事業	◎	55,516
	認定こども園建設補助事業		53,850
	旗山閣トイレ移設事業		1,700
	第2花岡児童の家設計事業		4,700
	来巻地区大蔵東ため池改修事業	◎	29,000
	東幹線水路改修（負担金）事業		4,500
	栽培漁業センター第1生物飼育棟改修実施設計事業		2,500
	中央線街路樹リフレッシュ事業	♥	3,000
	中村小学校屋内運動場改築事業	◎	25,000
	笠戸公民館建設事業	◎	20,000

(単位：千円)

	項 目	予算額	
ソフト事業	公共交通網形成計画推進事業	7,300	
	米川地区コミュニティバス試験運行事業	2,200	
	路線バス運賃減額実験事業	560	
	バスロケーションシステム負担金事業	670	
	企業等連携協定関連事業	♥	1,000
	公用車ドライブレコーダー設置事業	◎	400
	わんわんパトロール隊募集事業	◎	781
	障害者理解促進・交流事業		172
	視覚支援普及啓発事業		302
	モバイル型対話支援システム導入事業		251
	保育士トライアル雇用事業		558
	家庭児童相談システム導入事業		1,920
	健康ウォーキング事業		500
	産婦健康診査事業		3,750
	観光振興ビジョン推進事業	♥	3,550
	観光受入体制整備事業	♥	1,000
	つながる食育推進事業		3,000
	花岡公民館（講堂）建設基本計画策定事業	◎	500
	地域活性化推進事業		2,000
	地域コミュニティ創出支援事業		1,000

# 参考

## <基金積立金の推移>



(注)・国民健康保険基金、介護給付費準備基金を除く。

・減債基金は、市場公募地方債の満期一括償還に係る積立分を含む。

<地方債の推移>

